

平成18年4月12日

## 普天間飛行場の跡地を考える若手の会々員募集について

市及び県は共同で、本年2月に普天間飛行場の跡地利用基本方針を策定しました。

この方針策定に際し、地権者の意向取りまとめ等について中心的な役割を担ったのが、普天間飛行場の地権者の若い世代や親族が地権者である者で構成する「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」であります。

この若手の会は、毎月第二火曜日の午後7時半より市民会館和室にて定例会を実施し、先進地事例研究をはじめ普天間飛行場の返還後の跡地利用に関し独自に調査研究を重ね、地権者の立場で普天間飛行場の跡地利用について議論を行っています。

今年度からは、基本方針を踏まえ、より具体的なまちづくりに関する取り組みを実施するとともに、普天間飛行場の広さを実感するための家族ウォーキングや基地内文化財巡り、さらには先進地視察等も実施していく予定であります。

現在の構成員は23名で、会長1名（市消防本部勤務：大川正彦さん）、副会長2名で会を運営しております。

本年度は会員を増やし、より活発な活動を行うため、市民に広くピアールし新規会員を募集しています。

そこで、普天間飛行場の地権者及びその親族の方の参加をお願いしたいと考えています。

オブザーバとしての参加でも結構ですので、興味のある方は、下記までご連絡下さい。

記

連絡先：基地政策部基地跡地対策課（内線309）担当 又吉・塩川

## 普天間飛行場の跡地を考える若手の会の活動風景

